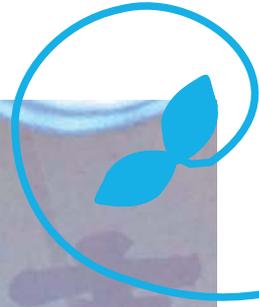


びがいのトビ ラ



【特集】市民インタビュー

笑顔の地域コミュニティ

〜いま、町内会・自治会が頼もしい〜

羽村市町内会連合会

P2

6月定例会について

- 審議した主な議案 P 4
- 議決結果一覧 P 6
- 議会活動アルバム P 7
- 市政について問う
《一般質問》 P 8
- 主な活動報告 P 17

No.117

平成 29 年
8 月 1 日発行
(通巻 226 号)

笑顔の地域コミュニティ

いま、町内会・自治会が頼もしい 羽村市町内会連合会



連合会副会長・内田正敏さん（緑ヶ丘西町内会長）



連合会長・和田 豊さん



連合会副会長・市川二三男さん（田ノ上第一町内会長）

インタビューにご協力いただきました

羽村市には39の町内会・自治会（以下町内会）があり、「住みよいまちづくり」をめざす活動に取り組んでいます。その連合体である町内会連合会は、町内会間の連絡・調整をはかるだけでなく、市の事業に参加、協力するなど、精力的に活動しています。

さまざまな活動で まちを支える

和田 各町内会はそれぞれ工夫を凝らし、独自の事業を行っています。同時に、共通の課題である防災対策にも積極的に取り組んでいます。
市川 例えば、東京都の補助金と市の助成金を使って、防災備品や車いすを購入して、災害時に備えています。他にも、避難所運営マニュアルに基づいた防災訓練や、トランシーバーを活用した災害時応援体制作りを進めています。

和田 どの町内会でも防災意識が非常に高まって、様々な対策を講じています。そして、もうひとつ共通の重要課題は、町内会への加入促進です。

内田 緑ヶ丘地域は、青梅線の西側に比べて歴史が新しく、市外から転入してきた方が多い。町内会に対する意識が薄いので、事あるごとにお誘いしています。転入してこれられた方から連絡をいただくとすぐに訪問し、丁寧に説明しています。

市川 私の住む青梅線の西側の地域も大差ありません。加入促進に特効薬はないと痛感しています。こまめに足を運び、直接顔を合わせて話すことが、大事ですね。

町内会連合会 MEMO

【羽村市の世帯数】25,119世帯 【加入世帯数】9,617世帯
【加入率】38.3%（平成29年4月1日） ※28年度加入率39.0%
【町内会連合会から下記の機関などに委員として参画しています】
青少年問題協議会／防犯・交通安全及び火災予防推進会議／廃棄物減量等推進審議会／高齢者虐待防止連絡会議／国民健康保険運営事業協議会／コミュニティバスはむらん運営推進懇談会／使用料等審議会／行政連絡委員／献血推進協議会／羽村市史編さん委員会／夏まつり実行委員会／社会福祉協議会 など



町内会加入促進グッズ。パンフレットだけでなく、マスクや絆創膏とセットにしたものもある。



【町内会活動の色々】①今年の7月15日に行われた小作台西町内会 盆踊り大会の様子。櫓（やぐら）や周りで踊る子どもたち。②防災リーダー講習会での放水訓練。（昨年7月）③市民体育祭でもPRに励む（昨年10月）④産業祭では射的ゲームを実施。大人気で長蛇の列ができた（昨年11月）⑤羽村駅・小作駅の両方で行う加入促進キャンペーンで、加入促進グッズを手渡す。（今年3月 羽村駅）

和田 連合会としても、駅頭でチラシやティッシュを配り、市民の皆さんに町内会加入を呼びかける活動をしています。また、小学校のPTA、幼稚園や保育園の保護者会で加入促進の説明を行っています。
市川 今年度から「加入促進退会防止策検討委員会」を立ち上げ、町内会全体で対策を考えていこうと計画しています。

地域の声を行政に

和田 町内会は地域コミュニティの一つのあり方ですが、実は行政のいろいろな機関に委員を派遣するなど、地域活動を支えているんです。
内田 町内会を廃止した自治体もありますが、やはり町内会の仕組みがないと困るといふことで、再構築しようとしているのが非常に困難、という話を聞いています。

市川 持続させていくことが地域のためにも大切だと思います。

内田 だから加入促進のため、町内会のイベントやお祭りに、町内会に未加入の方が来ても、一緒に楽しんでもらいます。入ってもらえると嬉しいな、と思いつながら（笑）。

皆の笑顔が幸せ 気軽に参加を

和田 加入率が低下していると言われますが、2世帯住宅の加入を1世帯とカウントしていたり、数え方、考え方もよる。事業や活動には確かに手間や時間がかかりますが、実際に取り組んでみると案外面白いんですよ。
内田 全町内会対抗の市民体育祭など、他の市にはない羽村ならではの行事もあります。

応援している姿や参加者の笑顔を見ると、幸せを感じます。
市川 人と人とのコミュニティ、地域とのつながりが、防災の視点からも重要な役割を果たすと思います。
内田 地域のソフトボールの団体等が町内会の活動を支えてくれて、とてもありがたいです。

市川 色々な団体と協力しあっていきたいですね。
内田 役員の仕事や負担を軽減したり、年齢や体調に配慮したり、町内会側も変わる努力をしています。

和田 気軽な気持ちで、まずは地域の行事に参加してみてください。きっと楽しいと思いますよ。

インタビューを終えて

線路をはさんで西側と東側の町内会では、歴史や特色も異なりますが、各々自由な発想で真剣に取り組まれていることが強く伝わってきました。

加入率では計り知れない地域コミュニティの核としての町内会の重要性を改めて認識しました。

お忙しいところ有意義なお話をありがとうございました。

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支え、力づけている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思います。第15回は総務委員会が取材しました。（7月3日）

【表紙の写真】
神明台町内会の盆踊り大会でかき氷の販売を担当していた皆さん。（7月15日撮影）

議案審議

一般会計補正予算など 市長提出議案18件を審議

■市長から提出された議案は、条例に関する議案3件、補正予算に関する議案6件、人事に関する議案9件の、合わせて18件で、すべてを承認・可決しました。

■議員から提出された議案は、意見書2件、決議1件で、意見書2件は可決、決議は否決されました。

■上程された陳情4件のうち1件は採択、1件は趣旨採択、2件は不採択でした。

主な議案の概要は次のとおりです。

※内容は要約しています。詳細はインターネット録画中継（6月13日・28日分）または会議録でご覧いただけます。

※インターネットで会議録をご覧になる場合は「羽村市議会」→「会議録の検索と閲覧」→「平成29年 第3回定例会」

※会議録は8月15日以降に公開となります。



市長提出議案

障害児福祉計画を 市で策定するために条例を改正

羽村市障害者計画及び障害福祉計画審議会条例の一部を改正する条例

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の一部を改正する法律の施

新たな農業委員会委員として 9人の方の任命に同意

農業委員会委員の任命について

農業委員会委員の任期満了に伴い、次の9名の方を委員に任命することに、議会の同意を求めたものです。これまでは選挙等により選出されていましたが、法律の改正により任命制になりました。

- 【新農業委員会委員】
- ・大野 元雄さん
 - ・小作 裕徳さん
 - ・石田 正弘さん
 - ・下田 邦男さん
 - ・中村 勝司さん
 - ・清水 亮一さん
 - ・石田 博重さん
 - ・新井 敏行さん
 - ・櫻沢 富士夫さん

行に伴い、市町村で障害児福祉計画を策定することが義務付けられたため、条例の一部を改正するものです。

【施行日】平成30年4月1日

【審議結果】原案可決

議員提出議案

東京都に対し、国保料（税）の負担軽減対策の実施を求める

東京都として国民健康保険料（税）の負担軽減のための財政出動等を求める意見書

平成30年度から、国民健康保険の財政運営の主体が都道府県に移ることに伴い、

組織犯罪処罰法の 強行採決に抗議する

組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律の改正の強行採決に抗議する決議

組織犯罪処罰法を強行採決したことに、強く抗議する決議を表明するものです。

【議決結果】 否決

討論

反対

組織犯罪処罰法の丁寧な説明は今後も必要。しかし、日本の危機管理も重く考えるべき。国は、国際社会と協調して組織犯罪を撲滅する体制を取るとともに、テロの危険から国民の命と安全、財産を守る重大な責務がある。

（新政会）

反対

2020東京大会という一大イベントを控える日本では、テロ対策は喫緊の課題。共謀罪とは違い、犯罪は組織的犯罪に限定され、テロ等準備罪の法定要件を厳格にし客観的な事実がある場合に限り適用されるので、一般市民の生活に影響は出ないと考える。

（公明党）

賛成

法案の審議、説明不足が目に見え。日本では犯罪は実行での処罰が基本。前段階の共謀で罪に問うのはこの原則に反するとの批判で今までは廃案と



なっていた。治安維持、安全確保と市民の自由や権利、プライバシーの擁護は相反するものだけに、十分な議論をしての判断が必要だった。

（世論）

議員が議案について本会議で意見表明することを「討論と呼び慣らすこと」



賛成

従来の刑法の基本的な考え方を大きく変更する重要法案を強行採決したことは、民主主義の根本を軽視し、政治に対する国民の信頼を傷つける。議会人として国会の有り様に警鐘を鳴らし国民の信頼に足る国会を取り戻すことを求めるのは当然。

（日本共産党）

賛成

組織犯罪処罰法は、現在の刑法の体系を根本から覆す。メールやSNSなど日常的なコミュニケーションや行動を、捜査を目的に監視するようになり、憲法で保障されている思想信条や表現の自由が侵害されかねない。（市民ネットワーク「いきいき広場」）

反対

総務委員会と同様の陳情の審査があり、不採択となったにも関わらず、同趣旨の主張を「決議」という方法で、市議会として、国会で決めたことに抗議、反対する内容である。市民の賛同が得られるか疑問であり賛成できない。

（新しい風）

【任期】平成29年7月20日
～平成32年7月19日

【審議結果】全員の任命に同意

※可決した意見書の全文は、市議会ウェブページでご覧いただけます。

↓「羽村市議会」

↓「決議・意見書」

議会活動アルバム



4月13日、北杜市議会議員が羽村市を訪問し、視察と、羽村市議会議員との意見交換を行いました。写真はゆとろぎ屋上から市内を見渡す北杜市議会議員の皆さん。



4月14日、広報委員会が議会PR用動画の撮影を、羽村市動物公園で行いました。ご協力いただいた松林小学校の皆さん、どうもありがとうございました。



5月11日、多摩都市モノレール建設促進及び公共交通対策特別委員会が、東京都知事に対し、モノレール延伸に関する要望書を提出しました。左から西川前委員長、石居前議長、東京都都市整備局交通企画課長。



7月3日、総務委員会が市民インタビューとして、町内会連合会の皆さんにお話を伺いました。地域コミュニティのあり方について考えさせられる良い取材でした。



6ページ凡例

■賛否■ 議案 / ○…賛成 ×…反対
請願・陳情 / ○…採択 ×…不採択 □…趣旨採択

■会派名■ 新…新政会 公…公明党 民…民進党 風…新しい風
共…日本共産党 ネ…市民ネットワーク「いきいき広場」
21…羽村 21 リ…リフレッシュ羽村 世…世論

議案の議決結果

●市長提出議案・議員提出議案の議決結果

市長提出議案	会派名(数字は人数)									議決結果
	新 (4)	公 (4)	民 (2)	風 (2)	共 (2)	ネ (1)	21 (1)	リ (1)	世 (1)	
羽村市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 ※地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
羽村市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 ※地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律の施行等に伴い、条例の一部を改正する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
羽村市障害者計画及び障害福祉計画審議会条例の一部を改正する条例 ※P4参照	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成29年度羽村市一般会計補正予算(第1号) ※1100万円を増額し、補正後の予算額を226億7100万円とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成29年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算(第1号) ※90万8000円を減額し、補正後の予算額を72億6489万2000円とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成29年度羽村市介護保険事業会計補正予算(第1号) ※9万5000円を減額し、補正後の予算額を35億5090万5000円とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成29年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計補正予算(第1号) ※70万3000円を減額し、補正後の予算額を10億99万7000円とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成29年度羽村市下水道事業会計補正予算(第1号) ※636万9000円を増額し、補正後の予算額を12億1316万9000円とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成29年度羽村市水道事業会計補正予算(第1号) ※収益的収入を24万円、収益的支出を483万4000円増額し、資本的支出を212万8000円減額する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
農業委員会委員の任命について(9件) ※P4参照	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

議員提出議案	会派名(数字は人数)									議決結果
	新 (4)	公 (4)	民 (2)	風 (2)	共 (2)	ネ (1)	21 (1)	リ (1)	世 (1)	
駐留軍関係離職者等臨時措置法の延長に関する意見書 ※国会及び政府に対し、駐留軍関係離職者等臨時措置法の有効期限を延長し、日本人従業員の雇用安定確保および離職者対策に万全を期するよう強く要請する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
東京都として国保料(税)の負担軽減のために財政出動等を求める意見書 ※P5参照	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律の改正の強行採決に抗議する決議 ※P5参照	×	×	○	×	○	○	○	×	○	否決

●陳情の議決結果

陳情	審査した委員会	本会議での賛否 会派名(数字は人数)									本会議での議決結果
		新 (4)	公 (4)	民 (2)	風 (2)	共 (2)	ネ (1)	21 (1)	リ (1)	世 (1)	
「駐留軍関係離職者等臨時措置法」の延長に関する陳情	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
圏央道の環境調査とNEXCOへの協議に関する陳情書	厚生	□	□	□	□	□	□	□	□	□	趣旨採択
安倍首相に、国政の運営にあたり「憲法尊重擁護義務」を守ることを求める意見書に関する陳情書	総務	×	×	○	×	○	○	○	×	○	不採択
国民の理解を得ないまま、基本的人権を脅かす「組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律等の一部を改正する法律案」の強引な成立は止めて、審議のやり直しを求める意見書に関する陳情書	総務	×	×	□	×	□	□	□	×	□	不採択

一般質問

一般質問とは、市が実施している施策全般についての議員の質問です。第3回定例会では、16人の議員が、6月8日、9日、12日の3日間にわたり一般質問を行いました。その要旨をお伝えします。



《Q》農地の「2022年問題」。市の対応は？ 《A》農地保全に結びつくよう、慎重に対応していく



大塚 あかね 議員（民進党）

羽村市の農業の継承と振興のために「なすべきこと」は？

「都市緑地法等の一部を改正する法律」が公布され、生産緑地面積要件が300㎡以上を引き下げられた。また、指定から30年経過する生産緑地を、新たに10年間指定することができるよう「特定生産緑地指定制度」が創設された。2022年には生産緑地が指定から30年を迎え、多くの生産緑地が解除され、転用、宅地化される恐れがあり、「農地の2022年問題」と言われている。



市内の生産緑地のひとつ

質問 300㎡まで引き下げる条例を制定すべきでは。

市長 農業委員会、関係団体の意見を伺い、慎重に対応していく。
質問 特定生産緑地指定の指定権者は市。その対応は。
市長 農業者の同意が必要であり、慎重に対応する。
質問 「農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」が示された。認定農業者の認定に意欲のある方は現在、何名いらっしゃるか。
市長 今年度は3名の認定を計画している。
質問 年間労働時間1800時間、家族経営協定を締結するとあるが、遵守される仕組みはあるのか。
市長 農業日誌や営農指導、3年、5年目のフォローアップ時に把握、指導する。
質問 新規認定就農者制度についての考えは。
市長 本構想をもとに認定を行うこととしている。

■その他の質問
『循環型生涯学習』の推進のために『奨学金制度』の創設してはいかがか？

《Q》認定マークやブランド化への支援を考えたは？ 《A》ロゴマークの活用やシールなど側面から検討



中嶋 勝 議員（公明党）

貴重な都市農業を守る施策について

認定農業者制度と生産緑地制度について問う。

質問 認定農業者数の目標は。市長 29年度年3人、10年後に15人を目指す。

質問 農業所得目標は。

市長 生産規模、方式、管理方法等、類型ごとに優良事例を踏まえつつ300〜800万円と設定。

質問 認定者のメリットは。市長 融資や年金上の特典、都の支援事業の補助がある。

質問 認定マークやブランド化への支援を考えたは。市長 認定農業者いきいきファーマーのロゴマーク活用、パッケージやシールの



トウモロコシ等が育つ羽加美1丁目の農地

デザイン、イベント開催など様々な側面から検討する。
質問 特定生産緑地制度と面積要件緩和への対応は。
市長 調査・研究を進めながら、慎重に対応していく。

3Rの促進で

環境にやさしい循環型社会へ

質問 青空市とにじいろフリーマーケットへの支援と充実を。
市長 開催場所や実施時期、実施形態など検討し、内容の充実へ支援していく。

質問 フードバンクの促進と*フードドライブの推進を。
市長 引き続き、食料の有効活用を図りながら、食品ロスの低減に努めていく。

質問 競って楽しくごみ拾いをするスポーツごみ拾い大会を市も企画しては。
市長 各市民団体等へ情報提供しながら、近隣自治体の動向にも注視し、今後の方向性を定めていきたい。

*フードドライブ：家庭で余っている食べ物を持ち寄り、まとめてフードバンク等に寄付する活動

《Q》腫瘍マーカーによる血液検査を実施すべき 《A》今後、実施に向けた検討を進めていく



高田 和登 議員（新しい風）

がんの予防について

質問 1回の採血で複数のがんについて調べられる「腫瘍マーカー」による血液検査」を羽村市の健康診査で実施すべきでは。
市長 腫瘍マーカーによる検査は、国の指針には含まれていないが、今後の国の動向を注視しながら、実施に向けた検討を進めていく。

市道の愛称と公園の名称について

質問 市道のうち26の路線に愛称が付けられている。「防災マップはむら」にも愛称名を記載して普及すべきでは。
市長 緊急輸送道路などの



市道愛称名表示板と由来表示板

市長 公園と児童遊園はそれぞれ別の法律・条例で定められている。名称の変更については、市民の皆様からの意見等も把握した上で、慎重に検討していく。